

令和5年度 農林水産委員会 県内所管事務調査の概要

令和5年6月7日（水）

◆調査箇所：西部振興局、農林水産研究指導センター林業研究部、玖珠家畜保健衛生所

【概要】

西部振興局（管轄：日田市、九重町、玖珠町）、農林水産研究指導センター林業研究部及び玖珠家畜保健衛生所における組織概要や、圃場整備、水田畑地化による高収益園芸品目等への生産転換、新規就農者・企業参入の状況、鳥獣被害対策、県産材の需要拡大、家畜伝染病予防対策の取組等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ファーマーズスクール生の出身地について
- ・みつばちの腐蝕（ふそ）病の検査について
- ・木材の曲がりの発生について

◆調査箇所：有限会社キヨタキナーセリー（日田市大山町）

【概要】

有限会社キヨタキナーセリーは、山林種苗や緑化木生産に取り組んでいる。特に山行苗は量と樹種ともに豊富かつ多岐にわたり、多様なニーズに対応した高品質な苗木を生産している。スギ・ヒノキなどの山行苗の生産量は県下の苗木需要量の約18%を占め、本県の再生林の推進にも大きく貢献している。

今回の視察では、ビニールハウスで栽培するコンテナ苗などについて説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・コンテナ苗の需要について
- ・スギ花粉の少ない品種について
- ・行政への要望について

◆調査箇所：PLUS D（玖珠町大隈）

【概要】

PLUS Dは酪農家を中心に肉用牛農家、建設業の代表者等の異業種で構成される団体である。令和3年度から玖珠町内を中心に飼料作物播種や水稲防除等、農業の様々な場面でドローンを活用した取組を行っており、自給飼料栽培や水田農業等における省力化に貢献している。

今回の視察では、団体の設立経過や活動実績、今後の展望について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・ドローンの飛行時間について
- ・ドローンの本体やバッテリーの価格について
- ・作業の需要について

◆調査箇所：株式会社エー・ワン（九重町田野）

【概要】

株式会社エー・ワンは、令和3年から加工用キャベツの生産を開始し、毎年栽培規模を拡大している。令和5年度の栽培面積は16ヘクタールを作付け予定であり、将来的に40ヘクタール以上の作付けを目指している。

今回の視察では、取組の概要及び出荷時のチップバーン対策等の加工用キャベツの課題などについて説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・加工用キャベツの課題における研究状況について
- ・キャベツ生産のスケジュールについて
- ・今後の展望について

令和5年6月8日（木）

◆調査箇所：農事組合法人おぶくろ営農（中津市三光）

【概要】

農事組合法人おぶくろ営農は、平成9年に任意組織として設立、平成20年に法人化し、米・麦・大豆の生産に取り組んでいる。令和4年度の全国麦作共励会において、集団の部で最高賞である農林水産大臣賞を県内から27年ぶりに受賞した。

今回の視察では、法人の概要や取組、運営体制、米や麦の栽培方法等について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・共同機械の保有状況について
- ・組合員の平均年齢や担い手の確保について
- ・使用している肥料について

◆調査箇所：大分県漁業協同組合香々地支店（豊後高田市見目）

【概要】

大分県漁業協同組合香々地支店は、令和4年に水産振興養殖事業促進協議会を設立し、特産である岬ガザミの養殖試験などを開始した。また、地元の産業として漁業を継続するため、大阪府などで開催される漁業就業支援フェアに積極的に参加するなど、担い手確保にも取り組んでいる。

今回の視察では、岬ガザミの養殖試験の概要及び担い手確保について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・20代、30代の県外出身者の就業きっかけについて
- ・カニハウスでの養殖の結果について
- ・岬ガザミの名称について

◆調査箇所：北部振興局、農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループ、水産研究部北部水産グループ、宇佐家畜保健衛生所

【概要】

北部振興局（管轄：中津市、豊後高田市、宇佐市）、農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループ水産研究部北部水産グループ及び宇佐家畜保健衛生所における組織の概要や、戦略品目である白ねぎ・小ねぎの生産拡大、早生水稲なつほのか普及に向けた取組、アサリの資源回復技術の開発、家畜伝染病予防対策の取組等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ファーマーズスクールと県や市との関わりについて
- ・水田畑地化推進基盤整備事業における推奨品目について
- ・ベリーツ生産者の声について

◆調査箇所：世界かんがい施設遺産「宇佐のかんがい用水群（平田井路・広瀬井路）」地域振興協議会

【概要】

宇佐市と宇佐土地改良区が管理する平田井路及び広瀬井路は、建設から100年以上の経過など世界かんがい施設遺産の認定基準を充足し、令和3年世界かんがい施設遺産に登録された。地域振興協議会は、現在も使用している各井路の保全だけでなく、世界かんがい施設遺産登録を契機とした地域振興や情報発信にも取り組んでいる。

今回は北部振興局で、ドローンで撮影した映像を視聴しながら各井路の概要の説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・NHK朝の連続テレビ小説の誘致について
- ・日田市の小ヶ瀬井路について

令和5年6月16日（金）

◆調査箇所：農業大学校（豊後大野市三重町）

【概要】

同校は、農業改良助長法に基づく農業者研修教育施設として、農学部及び研修部を設置している。学生が最新のスマート農業技術を習得するための屋内型ドローン練習施設及び環境制御（温度、湿度、炭酸ガス濃度、日射量）が可能ないちごハウスが令和5年3月に整備された。

今回の視察では、各施設の概要説明を受けるとともに、ドローンの操作を体験した。



<主な質疑等>

- ・学生の出身地と卒業後について
- ・いちごハウスの規模について
- ・ドローン本体の価格について

◆調査箇所：豊肥振興局、農林水産研究指導センター農業研究部、畜産研究部、農業大学校、林業研究部きのこグループ、豊後大野家畜保健衛生所、県央飛行場

【概要】

豊肥振興局（管轄：竹田市、豊後大野市）、農林水産研究指導センター農業研究部、畜産研究部、林業研究部きのこグループ、農業大学校、豊後大野家畜保健衛生所、県央飛行場における組織の概要や園芸・畜産の生産振興担い手の確保・育成、林業・特用林産物の振興、鳥獣被害対策、ベリーの早期収穫量向上対策、肉用牛の成果、農業大学校での教育・研修の状況等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・新規就農者の出身地及び農業大学校との関係について
- ・地球温暖化等の異常気象に対する品種研究の状況について
- ・企業参入の品目について

◆調査箇所：株式会社藤野屋ファーム（竹田市菅生）

【概要】

株式会社藤野屋ファームは、化学肥料の使用量や肥料コストの削減、高品質な堆肥を継続的に耕種農家へ提供することを目的に、ペレット機械を導入し、輸送や散布の利便性を向上させる取組を行っている。

今回の視察では、取組の概要及びペレット機械について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・ペレット堆肥の原料による成分の違いについて
- ・ペレット堆肥の種類によって適する作物について
- ・ペレット堆肥の価格について

◆調査箇所：県営水田畑地化推進基盤整備事業 高源寺地区（竹田市高源寺地区）

【概要】

高源寺地区では、農作業の効率化と生産コストの低減を図るとともに畑地化に向けた優良農地の確保を目指すため、圃場の区画拡大や暗渠排水、用水路のパイプライン化を実施している。高源寺地区には県外からの移住者を含む新規就農者が入植し、新たな担い手として活躍を期待されている。

今回の視察では、基盤整備事業の概要、現時点の営農状況及び新規就農者などについて説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・水田の割合について
- ・新規就農者の就農のきっかけについて
- ・新規就農者の育てている品種と収入見込みについて

令和5年6月23日（金）

◆調査箇所：公益社団法人 大分県漁業公社（国東市国東町）

【概要】

公益社団法人大分県漁業公社は、魚介類及び藻類の種苗生産を行うことを目的に、昭和46年に県・市町村・水産関係団体の出資により設立した。事業場は国東市国東町と佐伯市上浦にあり、県内で放流される種苗の大部分を生産し、水産資源の増殖に寄与している。

今回の視察では、国東事業所の取組及び令和元年度から実施している施設の建替事業などについて説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・ 建替事業の県の費用負担について
- ・ 種苗放流後の収穫状況について
- ・ 水槽で育てる魚種について

◆調査箇所：東部振興局、農林水産研究指導センター農業研究部果樹グループ、花きグループ

【概要】

東部振興局（管轄：別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町）、農林水産研究指導センター農業研究部果樹グループ及び花きグループにおける組織の概要や、新たな園芸産地の育成、集落営農組織の経営力強化、森林整備の推進、温州みかんの省力化技術の開発、ブドウの高収量栽培等の取組についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・ ベリーツの研究状況について
- ・ 果樹の販路拡大の取組について
- ・ 地球温暖化に対する果樹の品種研究について

◆調査箇所：株式会社大分サンヨーフーズ（杵築市狩宿）

【概要】

株式会社サンヨーフーズは平成20年にゆず栽培に参入し、果実等の搾汁・加工を行っている。また、耕作放棄地を再生、整備して機械化体系の大規模なゆず園地を造成するとともに、地域貢献にも積極的に取り組んでいる。

今回の視察では、これまでの取組及び今後の展望などについて説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・ 企業参入の経緯について
- ・ 面積拡大等の今後の方針について
- ・ ゆずの需要について

◆調査箇所：JAおおいた 杵築いちごパッケージセンター（杵築市杵築）

【概要】

杵築いちごパッケージセンターは、令和5年2月JAおおいた杵築事業所敷地内に開所し、新規就農者のパック詰め作業負担軽減や杵築いちごの規模拡大、生産品質の向上が期待されている。

今回の視察では、パッケージの流れを作業風景の動画等により確認し、パッケージセンターの概要及び杵築いちごの現状などについて説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・パックされるいちごの数や品種について
- ・パッケージセンターの利用料金について
- ・パッケージセンター利用者の声について

令和5年6月26日（月）

◆調査箇所：中部振興局、大分家畜保健衛生所

【概要】

中部振興局（管轄：大分市、臼杵市、津久見市、由布市）及び大分家畜保健衛生所における組織の概要や、水田畑地化による高収益な園芸品目等の導入推進、集落営農法人の経営力強化、担い手の確保・育成の状況、圃場整備や治山事業の状況、病性鑑定実績、今年1月に発生した高病原性鳥インフルエンザの対応等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・集落営農法人の経理の状況について
- ・治山事業の業者選定について
- ・企業参入用の説明資料について

◆調査箇所：農事組合法人 ゆのきナチュラルファーム（由布市庄内町）

【概要】

農事組合法人ゆのきナチュラルファームは、集落営農法人として地域の農地の維持管理に取り組んでおり、あわせて法人の経営強化を図るため、ハトムギ等の高収益作物の導入を進めている。また、柚ノ木地区は経営体育成基盤整備事業として、農作業の効率化と生産コストの低減を図るとともに畑地化に向けた優良農地の確保を目指すため、圃場の区画拡大や暗渠排水、用水路のパイプライン化を実施している。

集落営農法人の概要及び経営体育成基盤整備事業の概要について説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・ハトムギの需要と加工について
- ・圃場整備の課題について
- ・後継者確保の見通しと対策について

令和5年6月27日（火）

◆調査箇所：大分県水産養殖協議会トラフグ養殖部会（佐伯市蒲江）

【概要】

大分県水産養殖協議会トラフグ養殖部会は、他県産との差別化を図り、販路を拡大することを目的に、平成27年から餌にかぼすの果皮を混ぜて育成する「かぼすふぐ」の作出に取り組んできた。これまでに現地養殖試験を重ね、令和4年7月に生産マニュアルが完成し、11月から本格的に出荷を開始した。

今回の視察では、かぼすふぐ養殖の概要と販路などについて説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・養殖でのふぐ毒について
- ・かぼすを与える時期について
- ・かぼすふぐのふるさと納税の返礼品について

◆調査箇所：南部振興局、農林水産研究指導センター水産研究部

【概要】

南部振興局(管轄：佐伯市)及び農林水産研究指導センター水産研究部における組織の概要や佐伯型循環林業の推進、昨年発生した鳥インフルエンザの対応状況、「うまみだけ」の生産量確保、養殖業の生産体制の強化と販売促進、企業参入や農業農村整備事業の状況、魚類防疫に関する研究の取組等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・うまみだけのパッケージ表示について
- ・人工種苗によるモジャコ漁への影響について
- ・水田畑地化や集落営農法人の現状について

◆調査箇所：佐伯市細田地区 農事組合法人 王冠（佐伯市弥生）

【概要】

佐伯市細田地区では経営体育成基盤整備事業により、農地の区画拡大や暗渠排水施設の整備等に取り組んでいる。また、平成18年に設立した細田地区の農事組合法人王冠は、麦やWCS用稲の作付けを開始するとともに基盤整備における畑地化対策として集積農地への企業参入（キウイフルーツ）を受け入れた。

基盤整備の概要や農事組合法人の取組と今後の方針などの説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・後継者グループとの連携について
- ・経営体育成基盤整備事業の地元負担について
- ・米粉の販売先について

◆調査箇所：佐伯広域森林組合（佐伯市宇目）

【概要】

佐伯広域森林組合は、地域から生産される木材の需要拡大を目的として木材加工に取り組んでおり、大分方式乾燥材をはじめとする品質の優れた製材品の安定供給体制を構築し佐伯型循環林業を推進するなど地域林業の振興に大きく寄与している。

今回の視察では、組合の概要や取組の状況などについて説明を受けた。



<主な質疑等>

- ・大径材の加工や販売について
- ・使用している機械の生産国について
- ・20代と30代の年齢構成比率が高い理由について